

---

---

# 大和川水系西除川ブロックの 当面の治水目標の設定について

---

---

1. 西除川流域の現状
2. 当面の治水目標の設定

# 前回治水部会における検討概要

- 平成23年度 第6回 大阪府河川整備委員会 治水専門部会 (平成24年1月26日)
- 平成24年度 第2回 大阪府河川整備委員会 治水専門部会 (平成24年8月 1日)

## 審議内容：

- 西除川流域の現状
- 治水計画の概要
- 治水事業の概要
- 当面の治水目標の設定

## 審議結果：

- 西除川（狭山池ダム下流区域）については時間雨量80mm程度（現計画規模）とし、三津屋川については現状維持とすることを、当面の治水目標の部会案とし委員会に報告することは了承。

## 課題：

- 西除川（狭山池ダム上流区域）では、50mm未対応区間を残して、それより上流区間で河川改修をする点については、田畑等で浸水はするも人的被害がない場合の対応について引き続き審議。

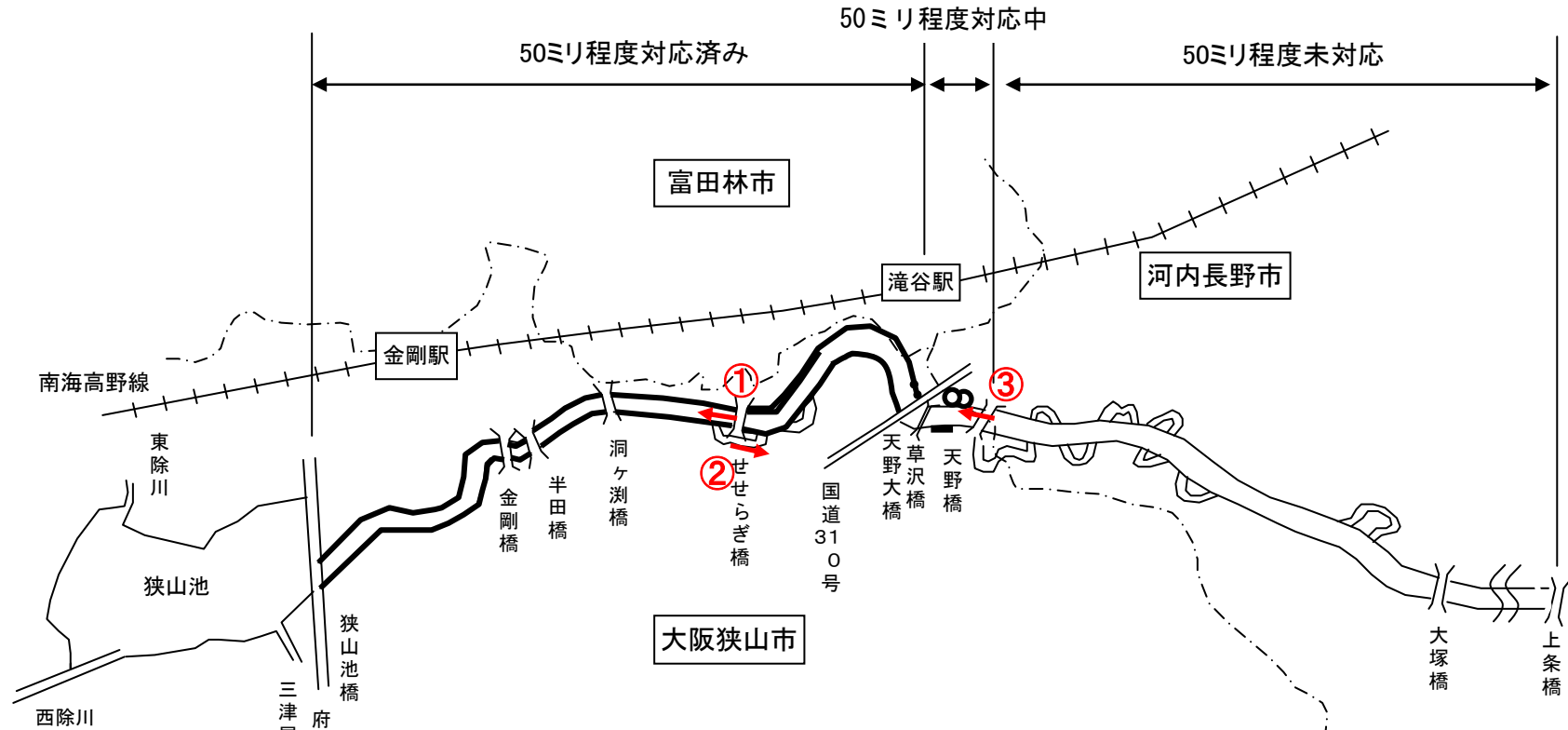
# 1. 西除川流域 (狭山ダム上流区域) の現状





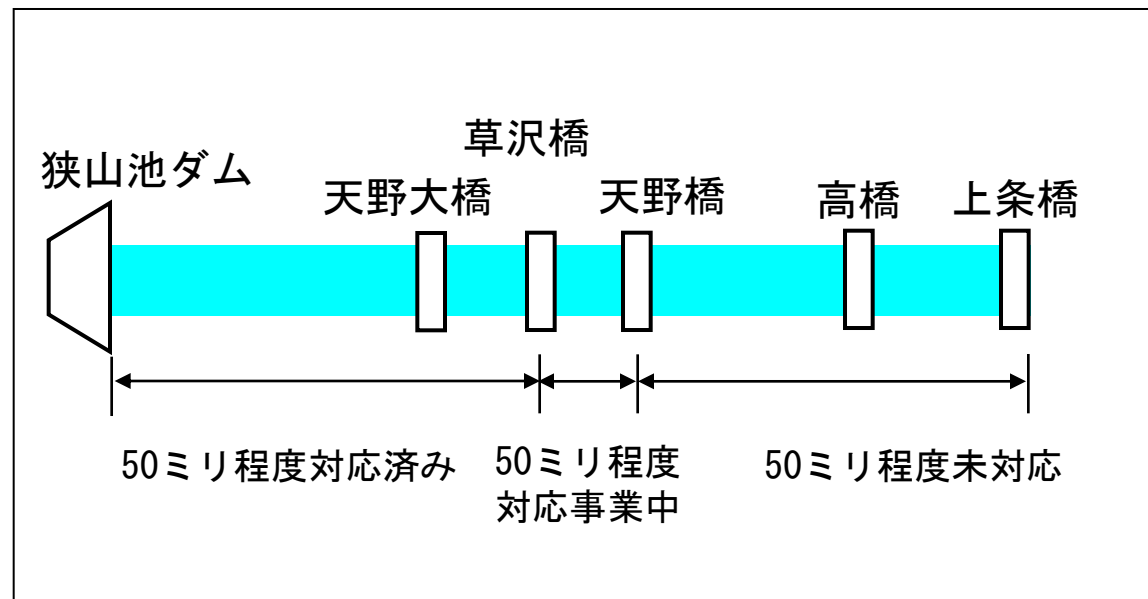
# 1. 西除川流域(狭山ダム上流区域)の現状

●狭山池ダム合流点付近では宅地化が進んでいるが、上流部では樹木や竹林等の自然が多く残っており、ヒメボタルやカワセミなどの希少種が存在する。



## 2. 当面の治水目標の設定【ダム上流：現況河道における氾濫解析】

- 氾濫シミュレーションの前提条件（狭山池ダム上流区域）
  - 現況河道での氾濫解析を実施
  - 降雨波形は中央集中型とし、時間雨量50ミリ程度、65ミリ程度、80ミリ程度、90ミリ程度の4ケースを実施
  - 氾濫解析モデルは2次元不定流モデルを採用

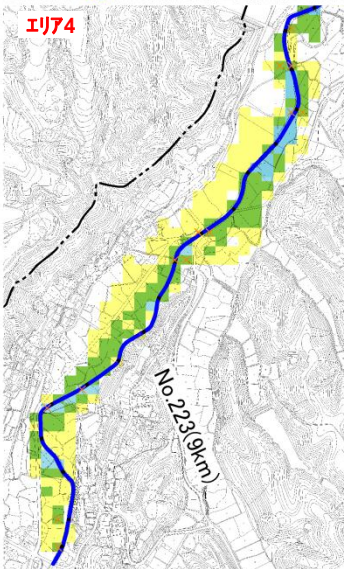
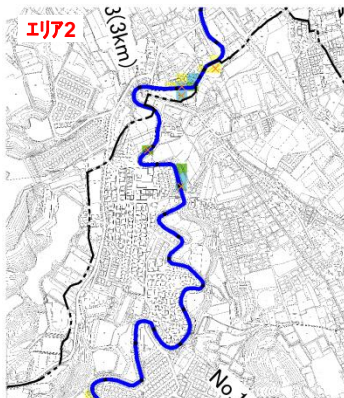
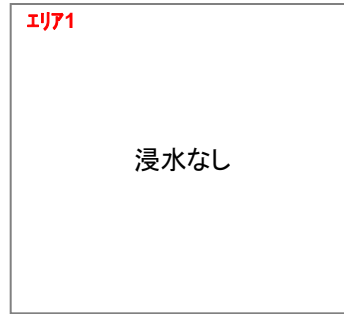
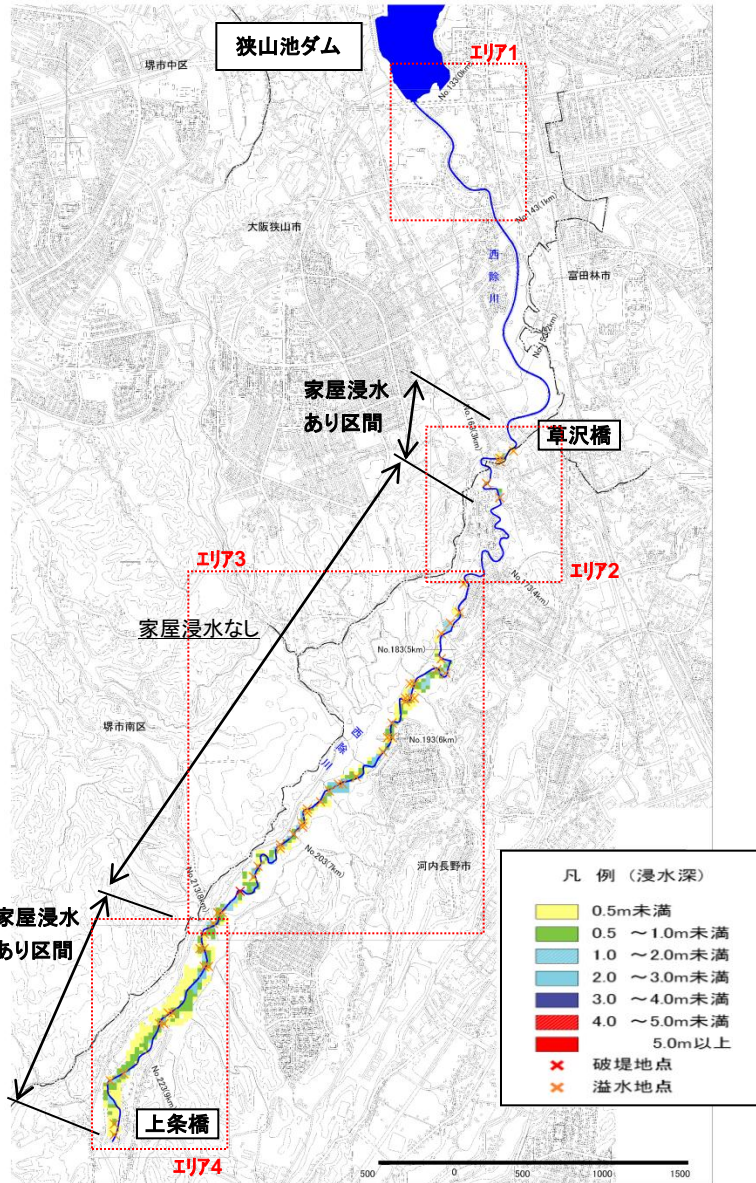




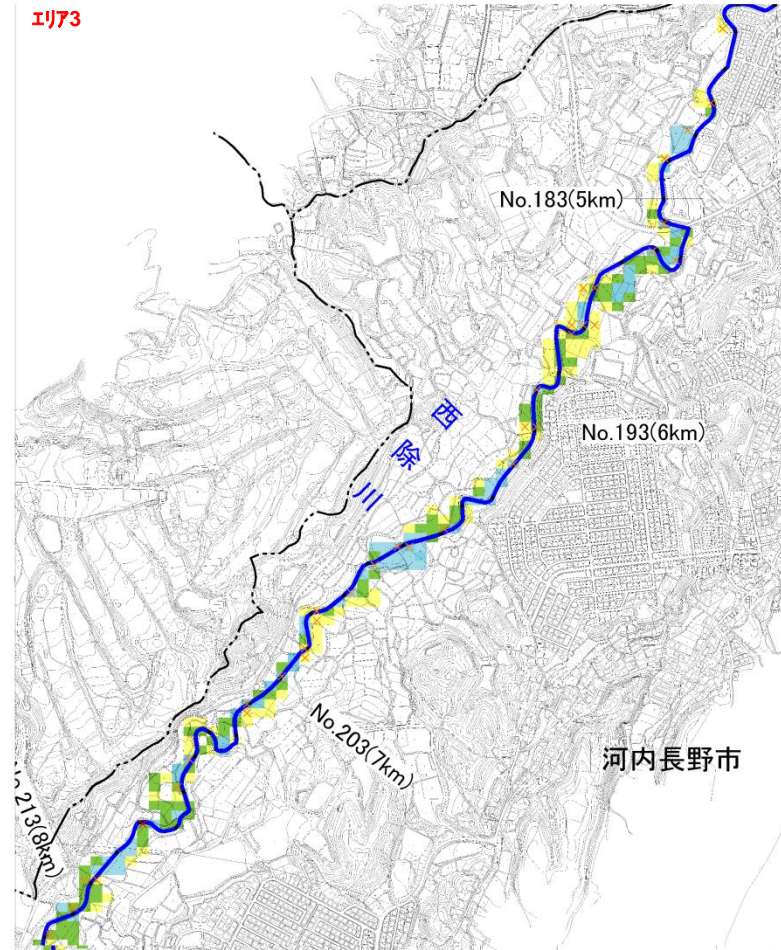
# 2. 当面の治水目標の設定【ダム上流：現況河道における氾濫解析】

## ■ 現況河道での氾濫解析結果

(狭山池ダム上流区域)



時間雨量50ミリ程度(1/10年)



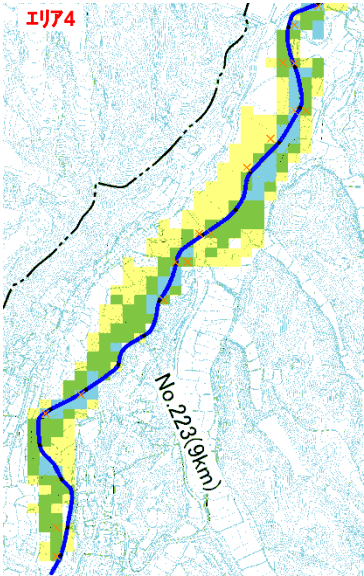
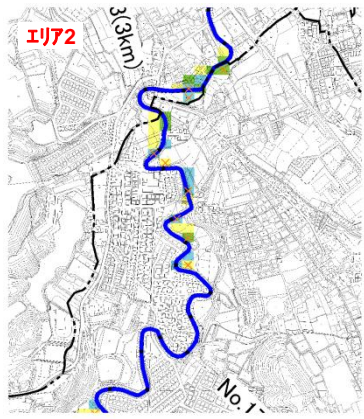
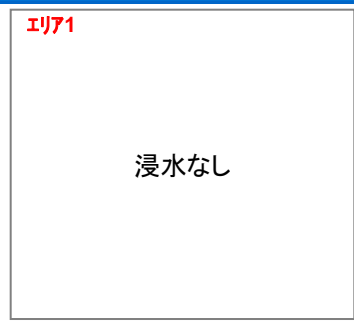
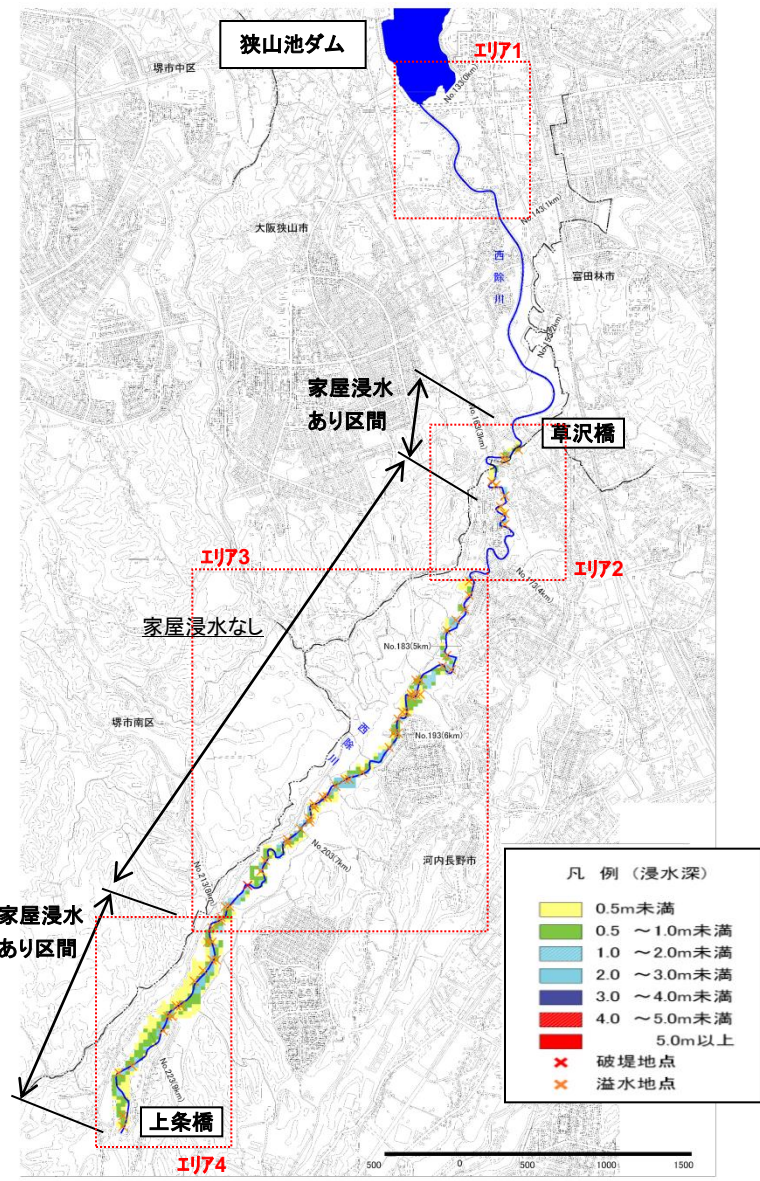
※被害最大となる破堤地点での破堤を想定(1洪水)



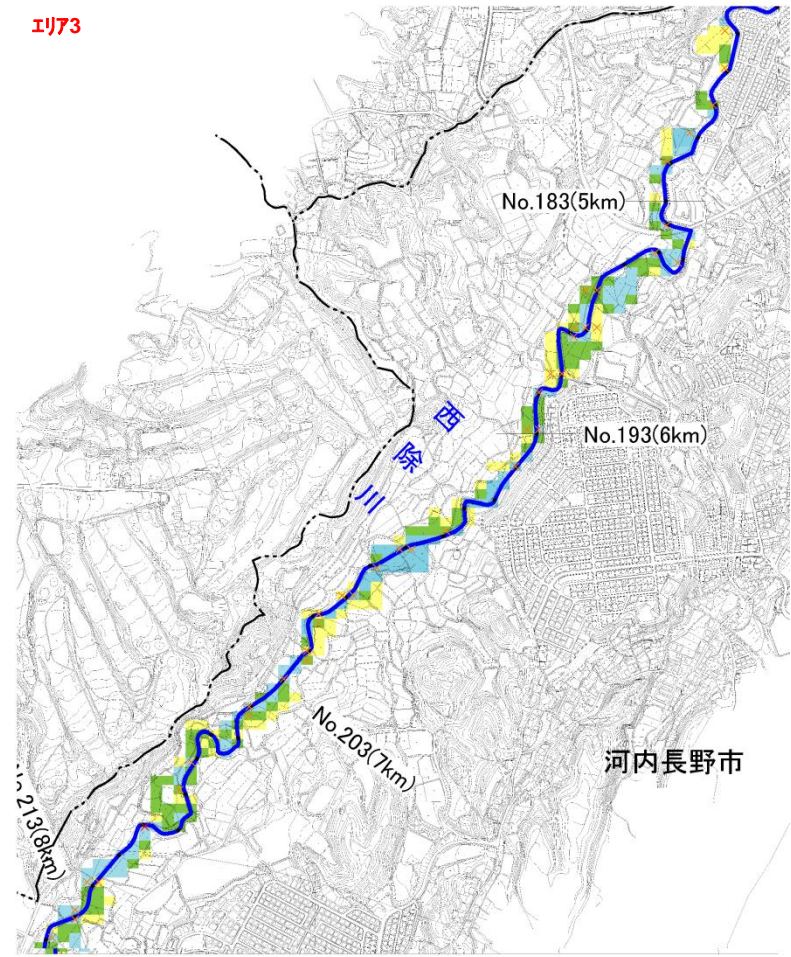
# 2. 当面の治水目標の設定【ダム上流：現況河道における氾濫解析】

## ■ 現況河道での氾濫解析結果

(狭山池ダム上流区域)



時間雨量65ミリ程度(1/30年)



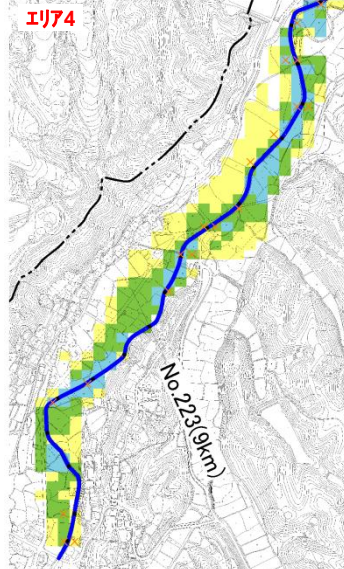
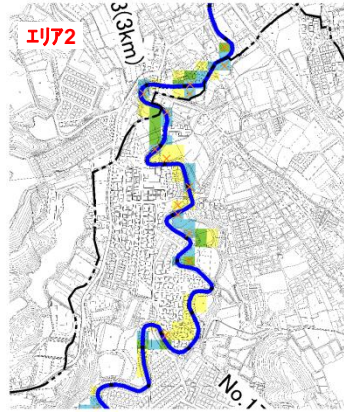
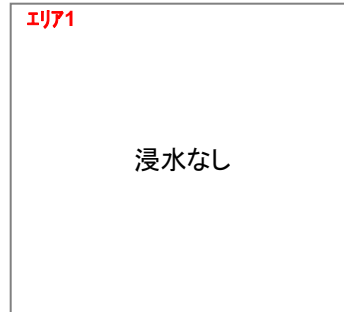
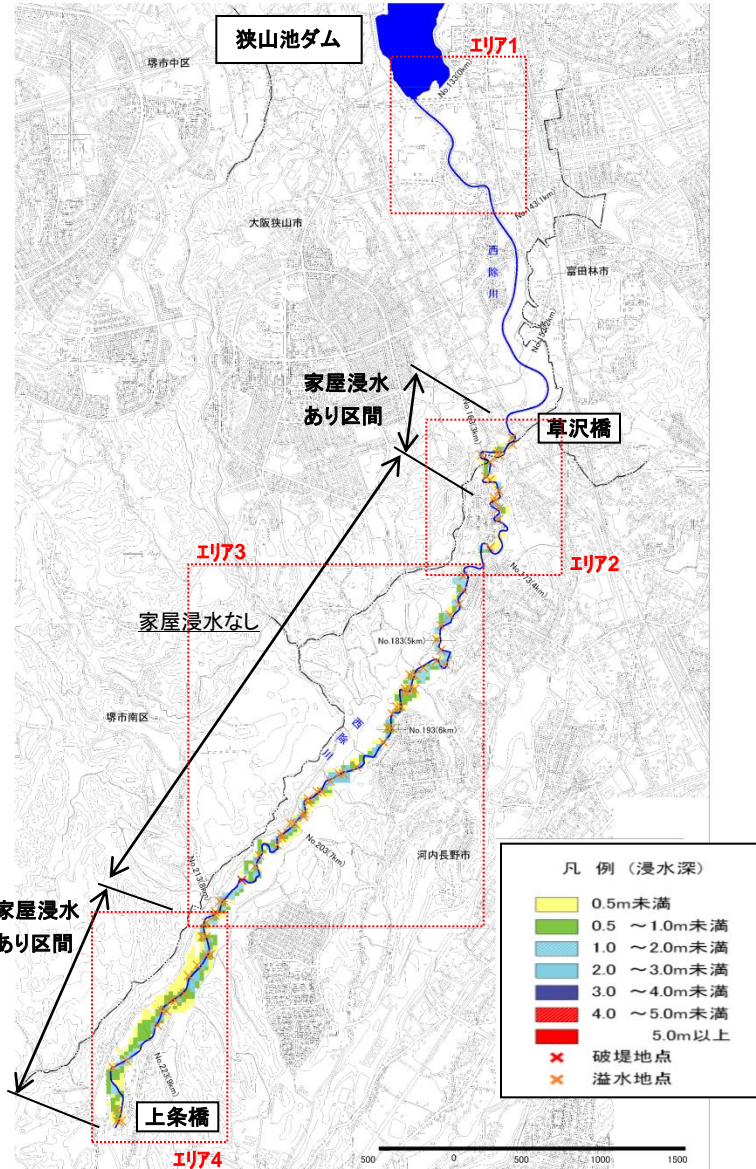
※被害最大となる破堤地点での破堤を想定(1洪水)



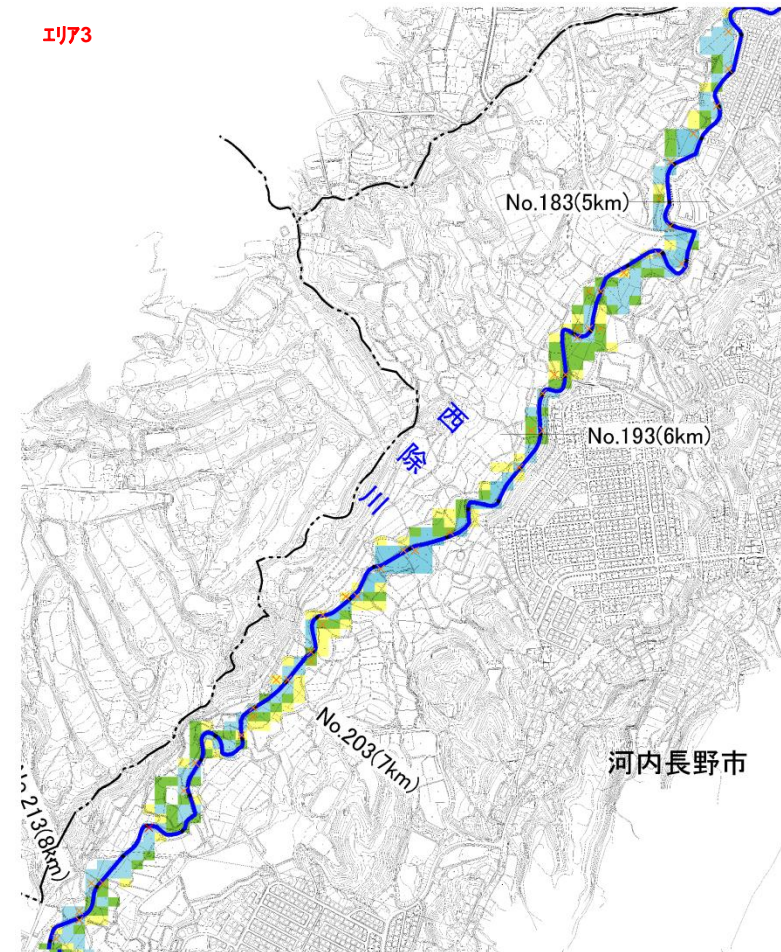
# 2. 当面の治水目標の設定【ダム上流：現況河道における氾濫解析】

## ■ 現況河道での氾濫解析結果

(狭山池ダム上流区域)



時間雨量80ミリ程度(1/100年)



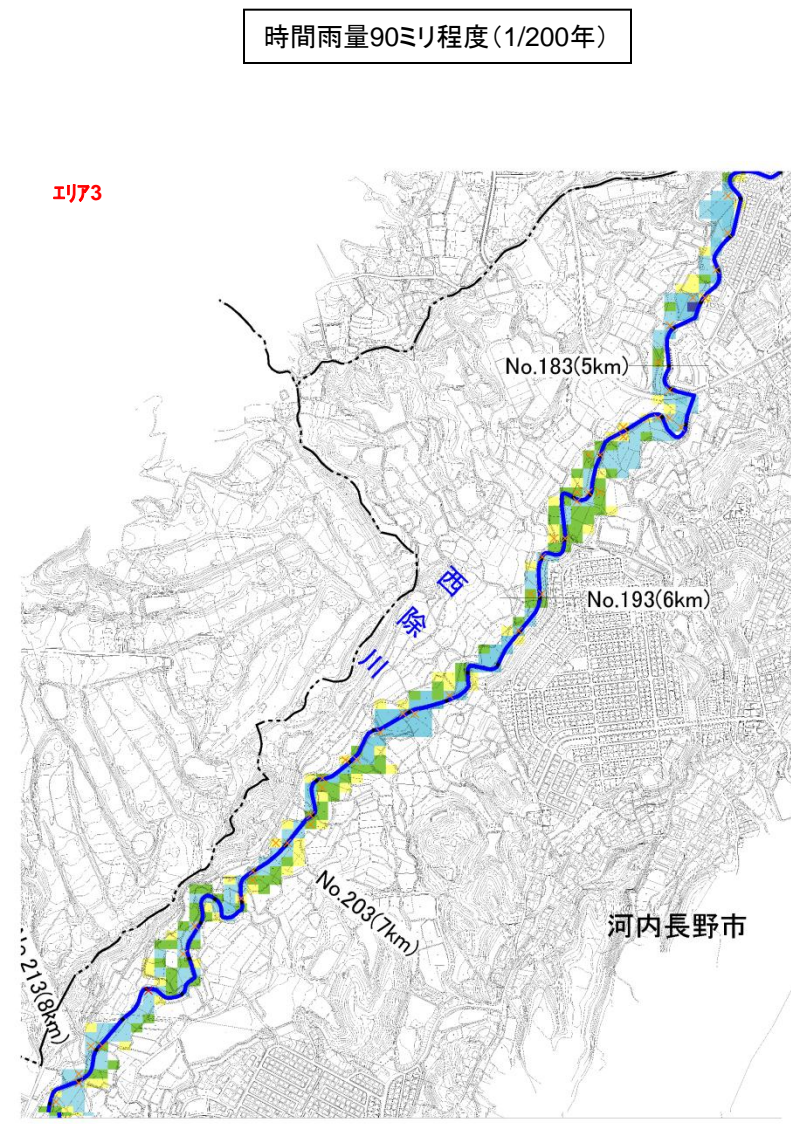
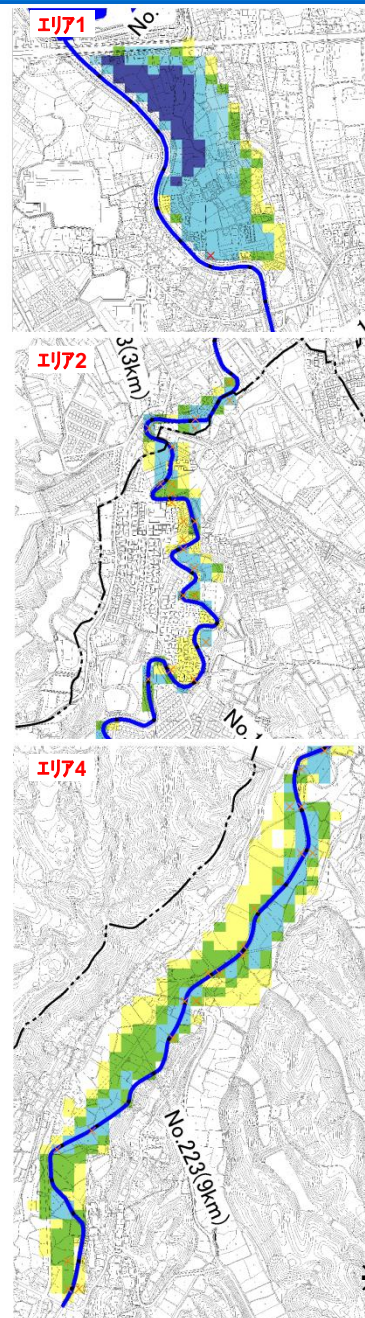
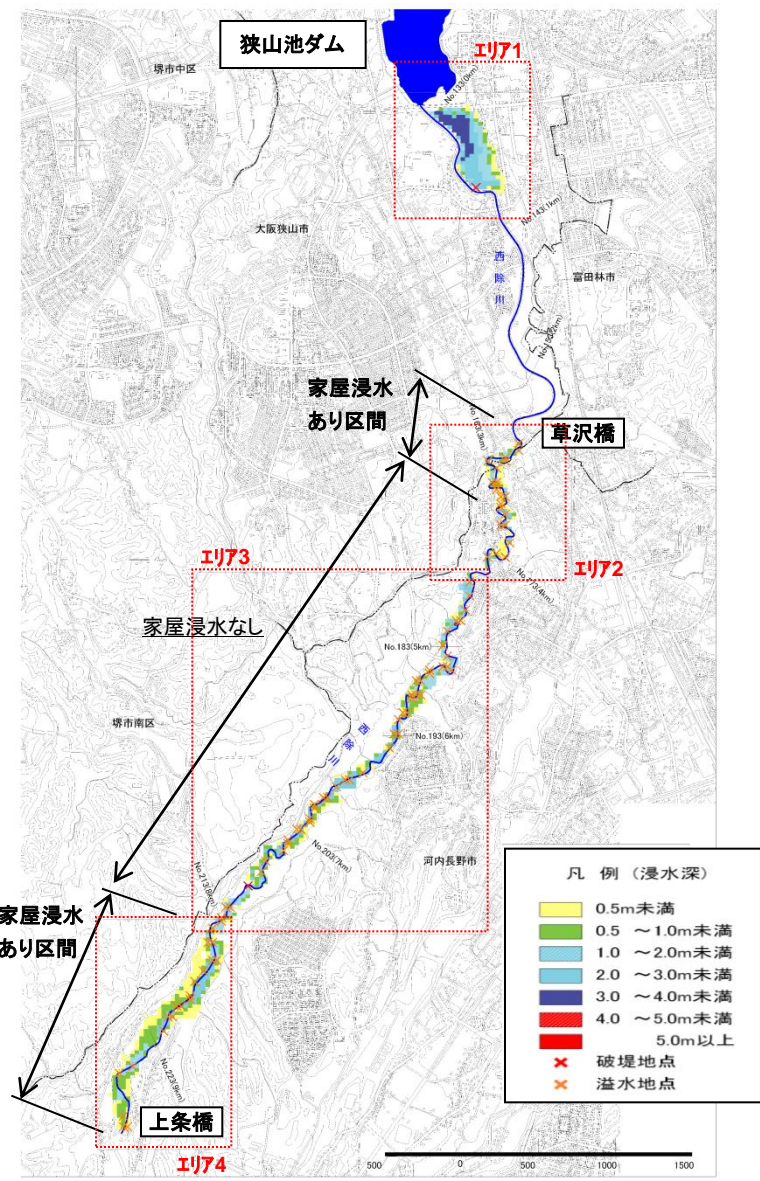
※被害最大となる破堤地点での破堤を想定(1洪水)



# 2. 当面の治水目標の設定【ダム上流：現況河道における氾濫解析】

## ■ 現況河道での氾濫解析結果

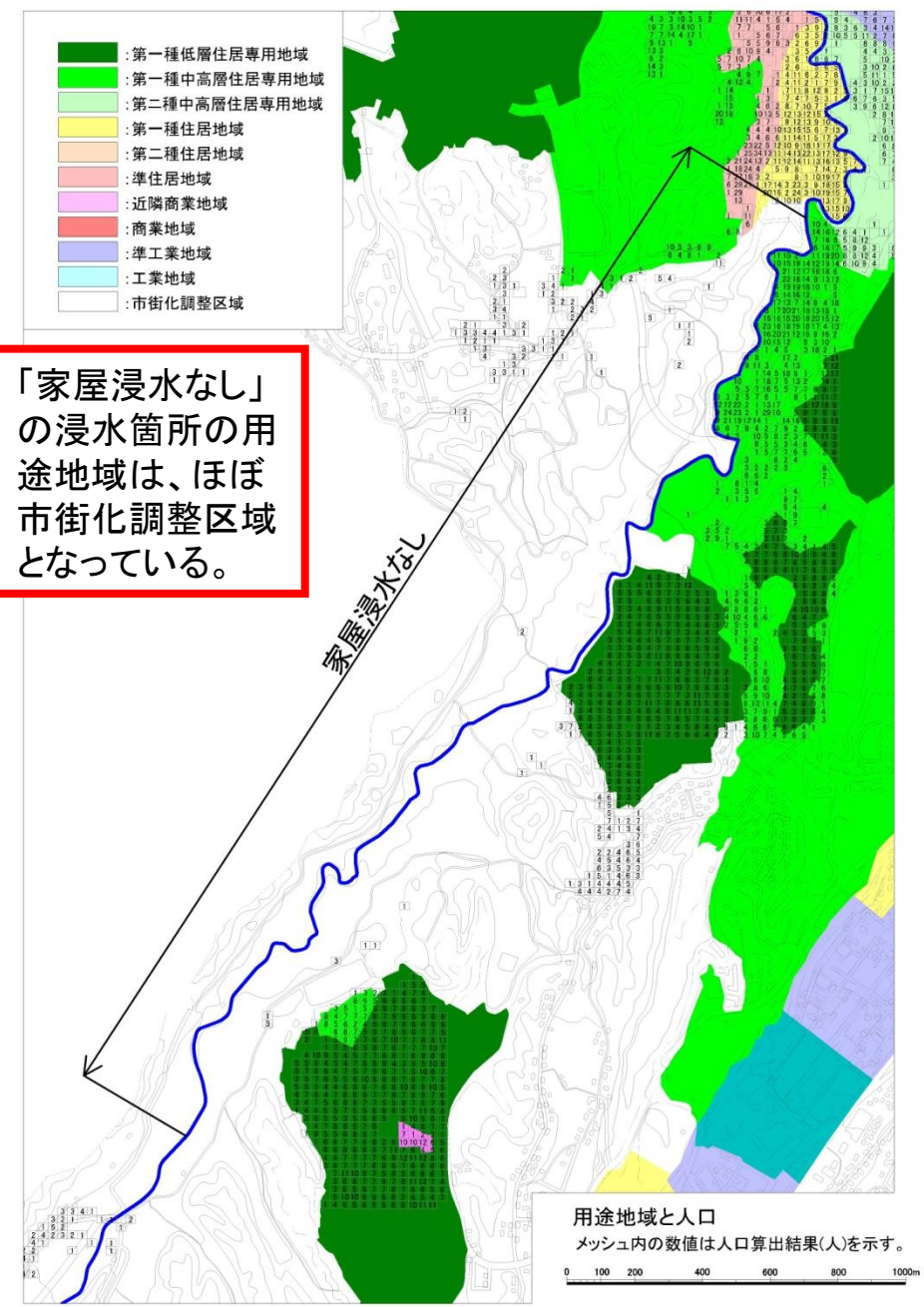
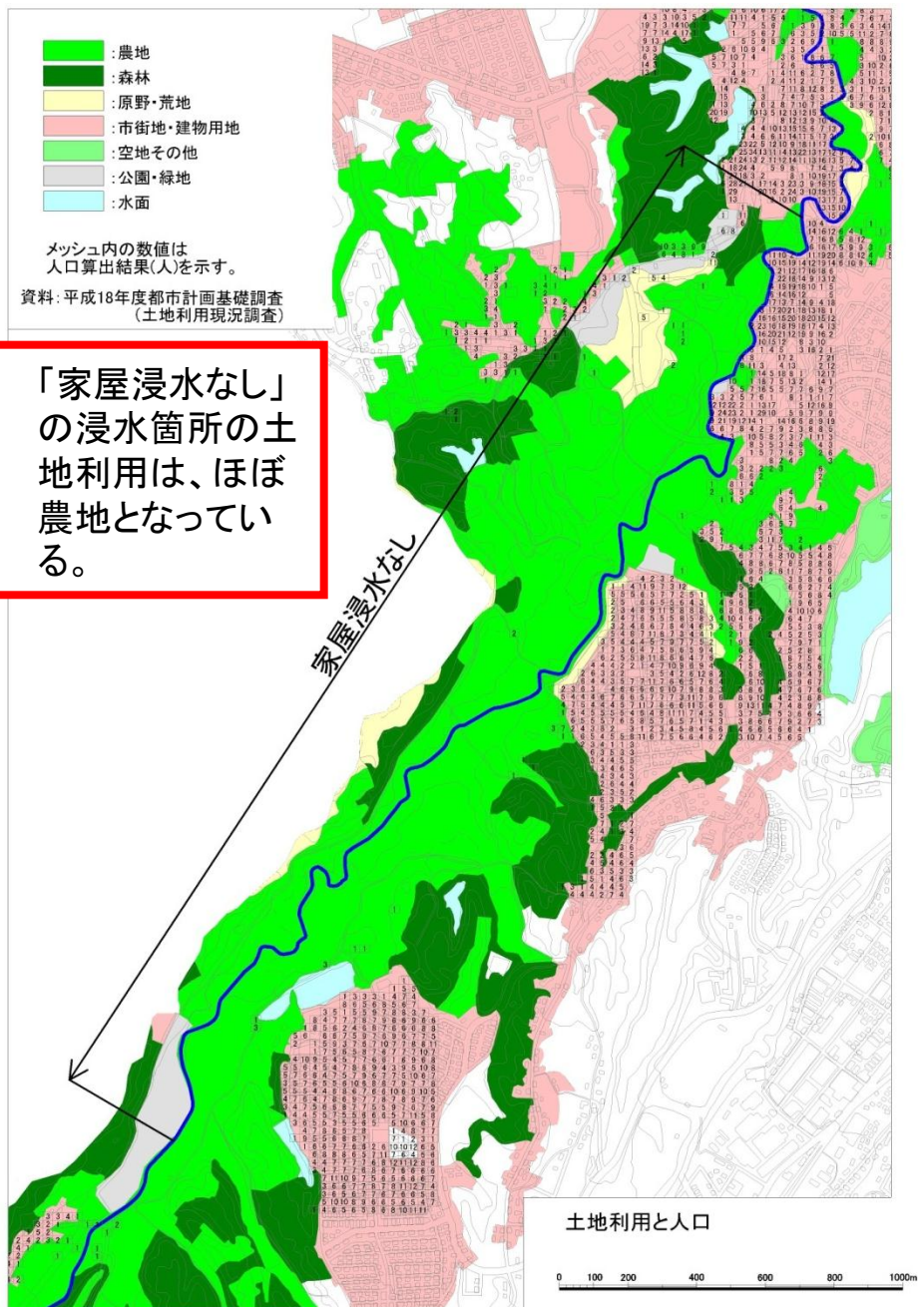
(狭山池ダム上流区域)



※被害最大となる破堤地点での破堤を想定(1洪水)



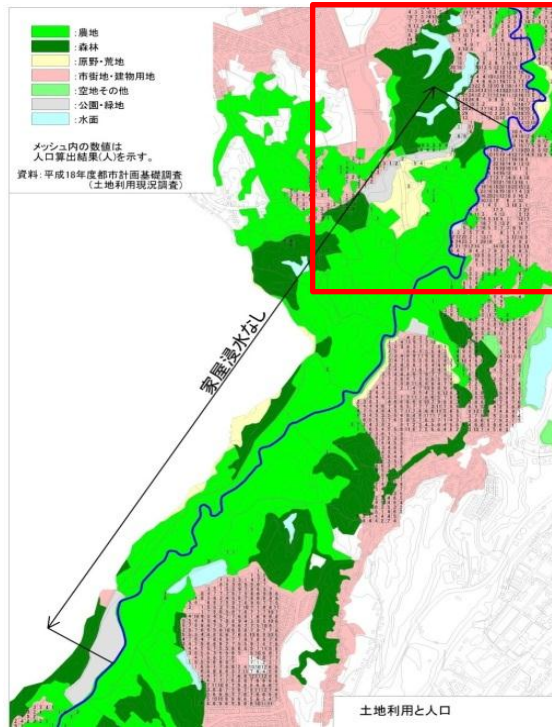
# 2. 当面の治水目標の設定【家屋が浸水しない区間の土地利用状況】





## 2. 当面の治水目標の設定【家屋が浸水しない区間の現況】

### ■家屋浸水なし 下流区間

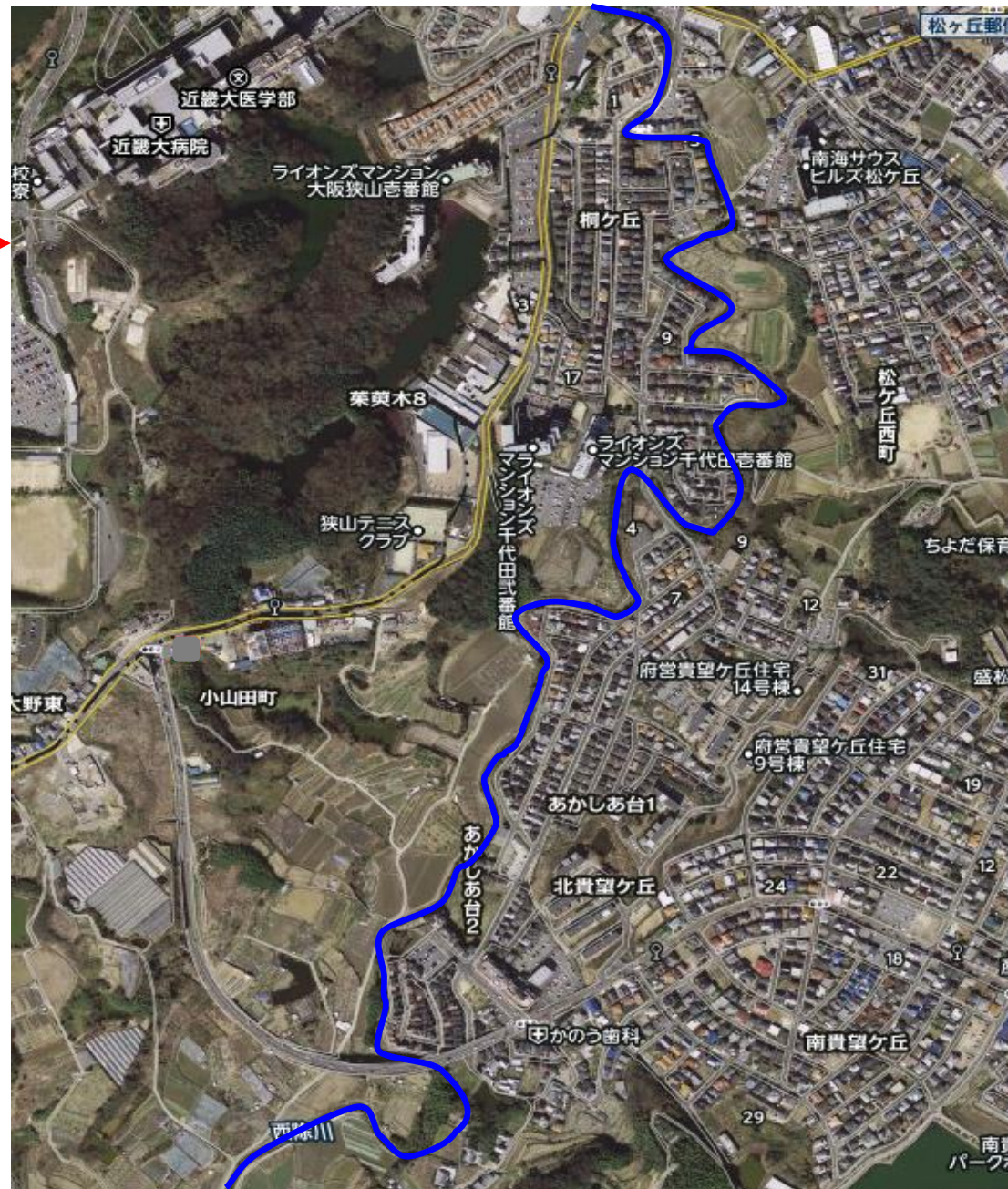


＜左岸側＞

・農地として利用されている。

＜右岸側＞

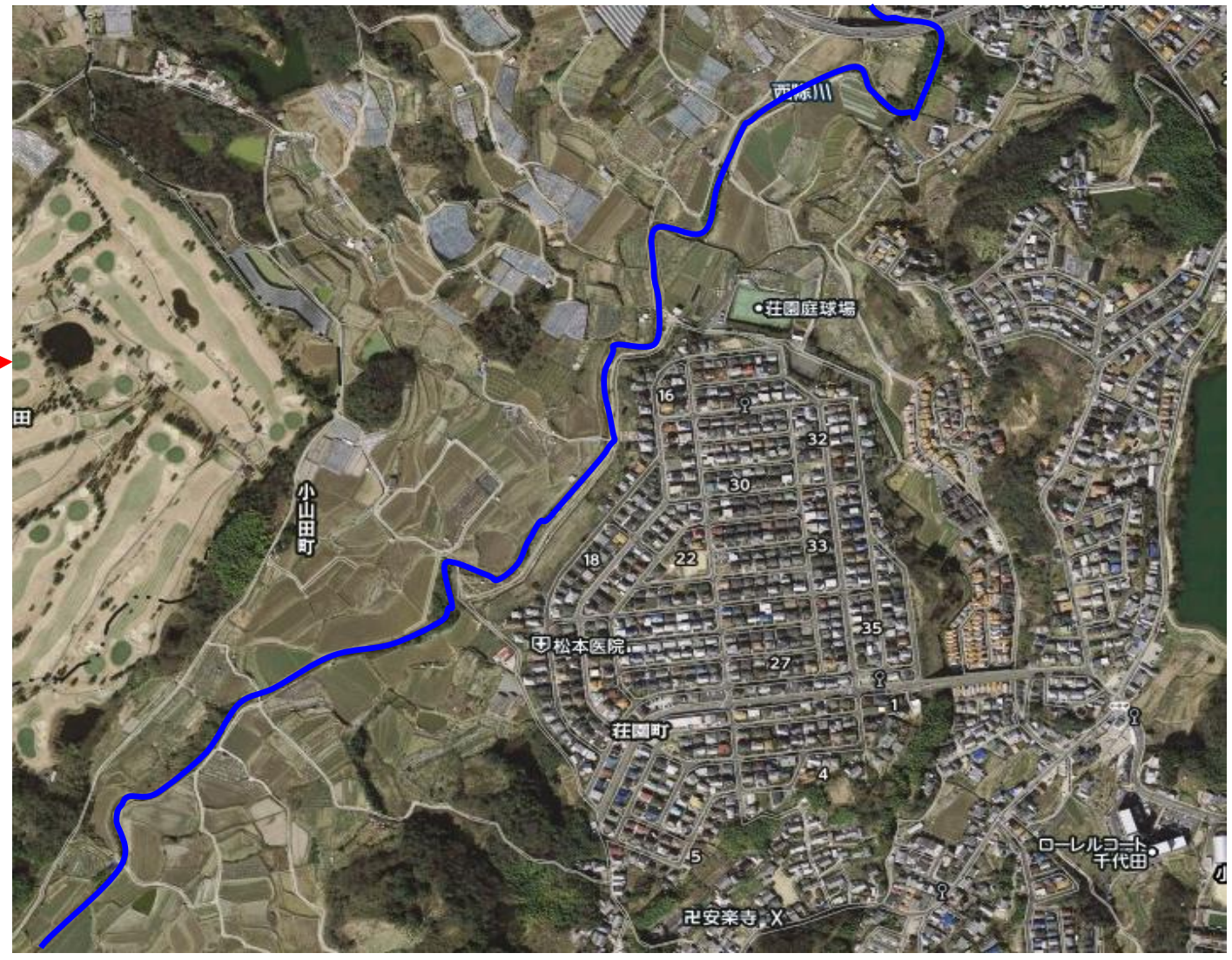
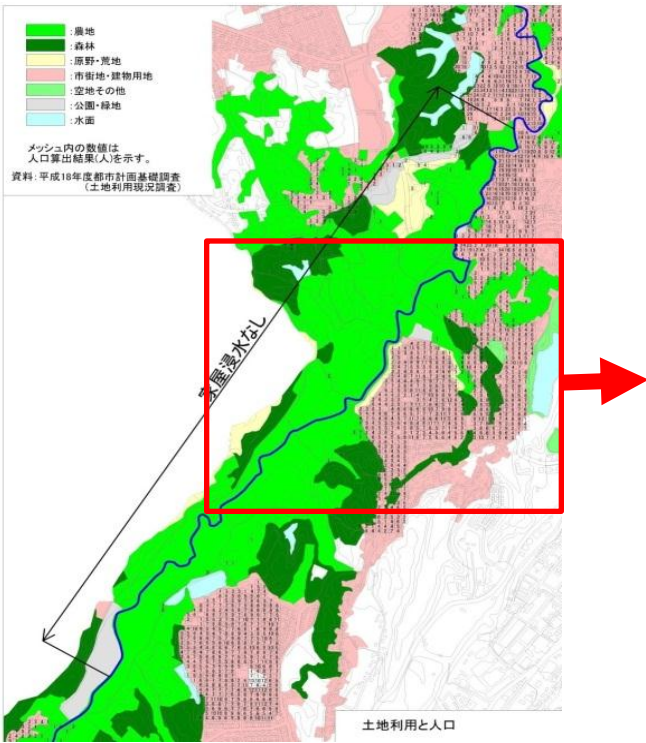
・市街地の様相を呈している。





## 2. 当面の治水目標の設定【家屋が浸水しない区間の現況】

### ■家屋浸水なし 中流区間



＜左岸側＞

・農地として利用されている。

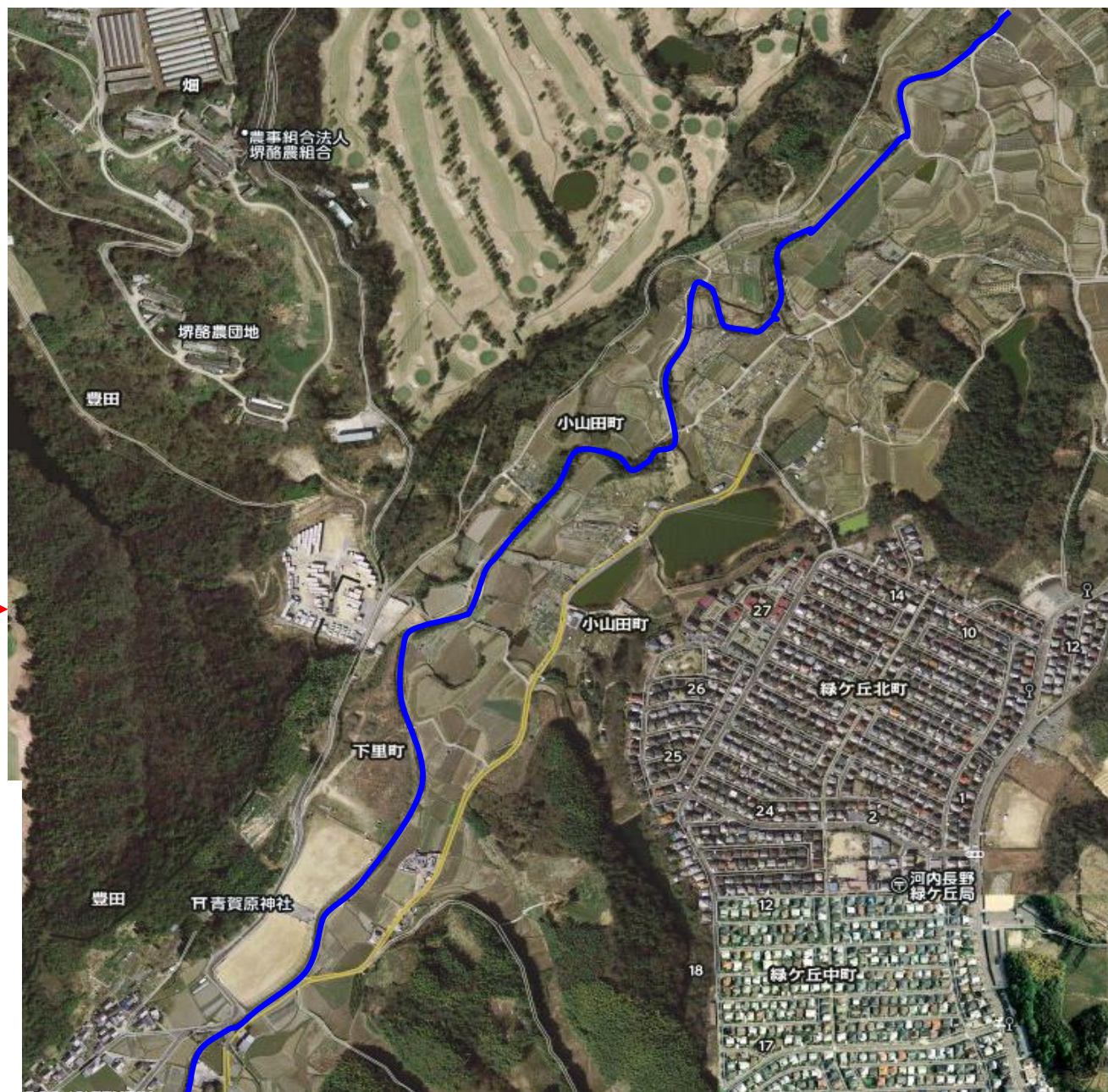
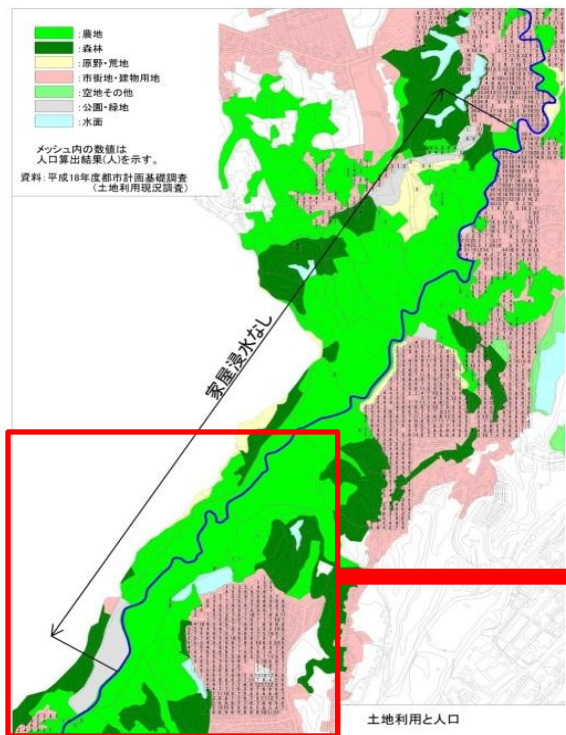
＜右岸側＞

・市街地の様相を呈している。



## 2. 当面の治水目標の設定【家屋が浸水しない区間の現況】

### ■家屋浸水なし 上流区間



<左岸側>

・農地として利用されている。

<右岸側>

・農地として利用されている。

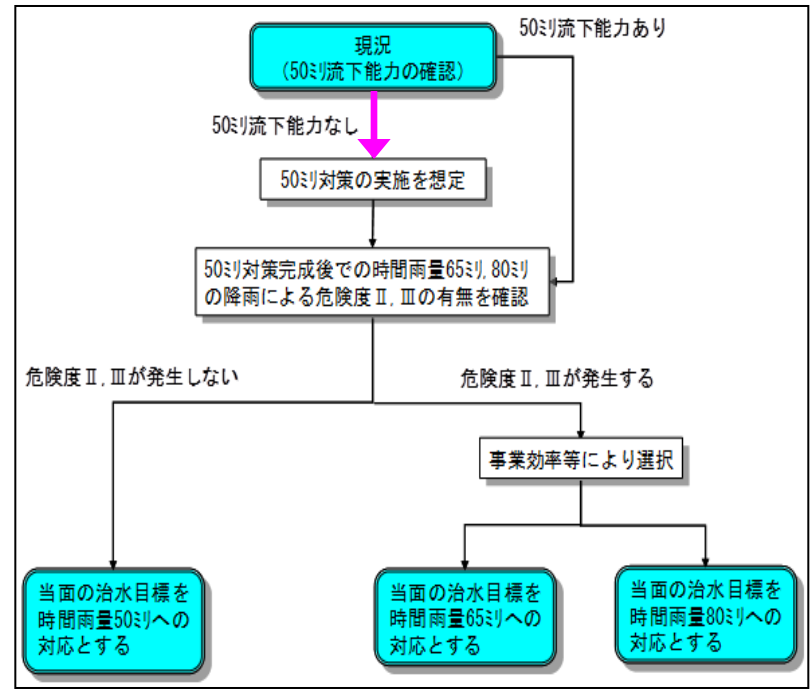
# 2. 当面の治水目標の設定【ダム上流：現況河道における氾濫解析】

■現況河道(狭山池ダム上流区域)・・・時間雨量50ミリ程度で浸水被害が発生する

(危険度Ⅲについては家屋被害なし)

		危険度Ⅰ	危険度Ⅱ	危険度Ⅲ
大 ↑ (発生頻度) ↓ 小	50ミリ程度 (1/10)	15.57 ha 25 人 74 百万円	18.43 ha 18 人 323 百万円	0.47 ha 0 人 0 百万円
	65ミリ程度 (1/30)	13.90 ha 60 人 194 百万円	22.42 ha 32 人 496 百万円	1.86 ha 0 人 1 百万円
	80ミリ程度 (1/100)	14.17 ha 151 人 330 百万円	24.55 ha 65 人 1,006 百万円	4.79 ha 0 人 8 百万円
	90ミリ程度 (1/200)	15.50 ha 356 人 611 百万円	34.19 ha 597 人 10,806 百万円	10.91 ha 60 人 2,356 百万円
		床下浸水	床上浸水 (0.5m以上)	壊滅的な被害 (浸水深3.0m以上) (家屋流出指数 2.5m <sup>3</sup> /s <sup>2</sup> 以上)
		小	大	
		(被害の程度)		

凡例  
面積 (ha)  
人数 (人)  
被害額(百万円)



**家屋が浸水する区間について時間雨量50ミリ程度対応の河道改修を実施**

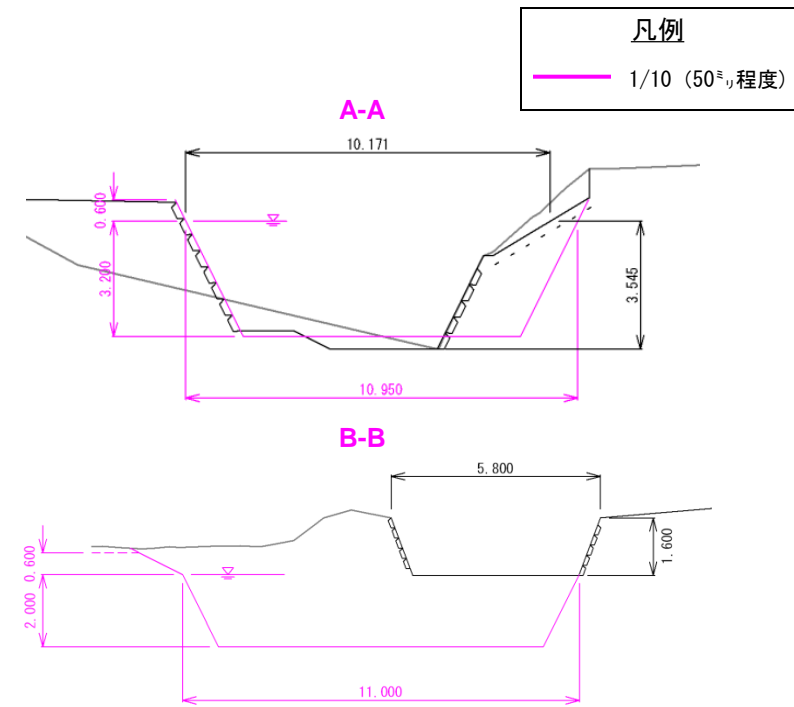
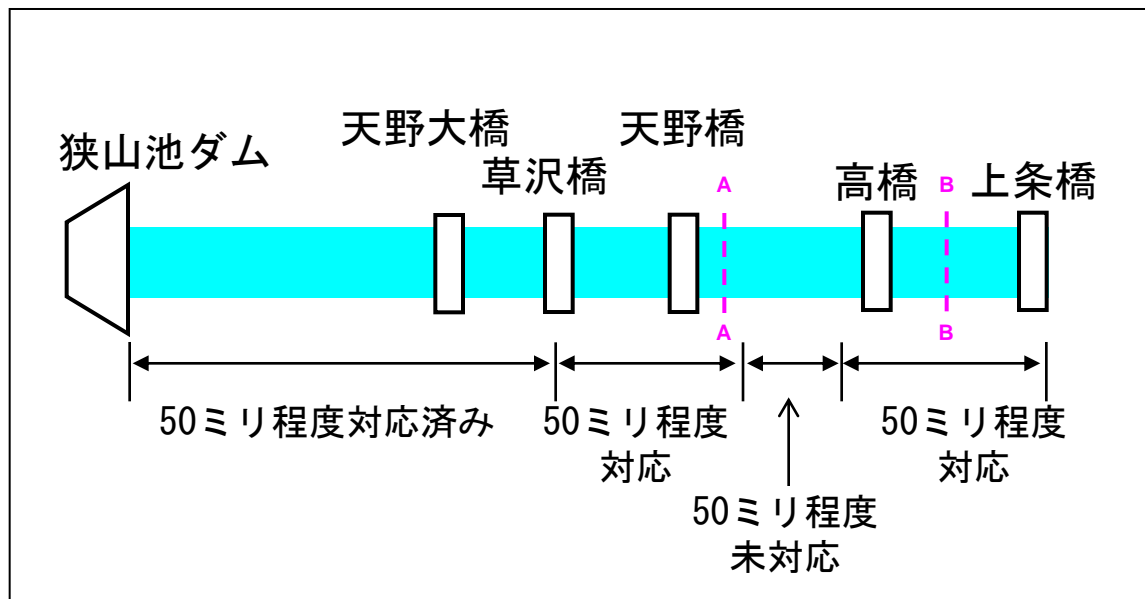
※前回提示資料から被害額を再精査



## 2. 当面の治水目標の設定【ダム上流:50ミリ程度対応完成後における氾濫解析】

### ○ 氾濫シミュレーションの前提条件（狭山池ダム上流区域）

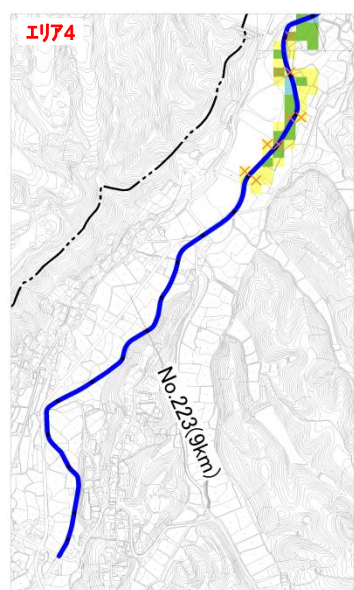
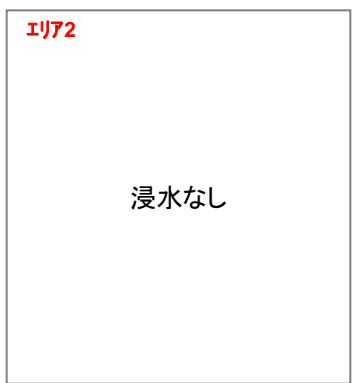
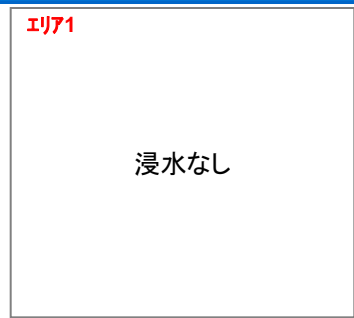
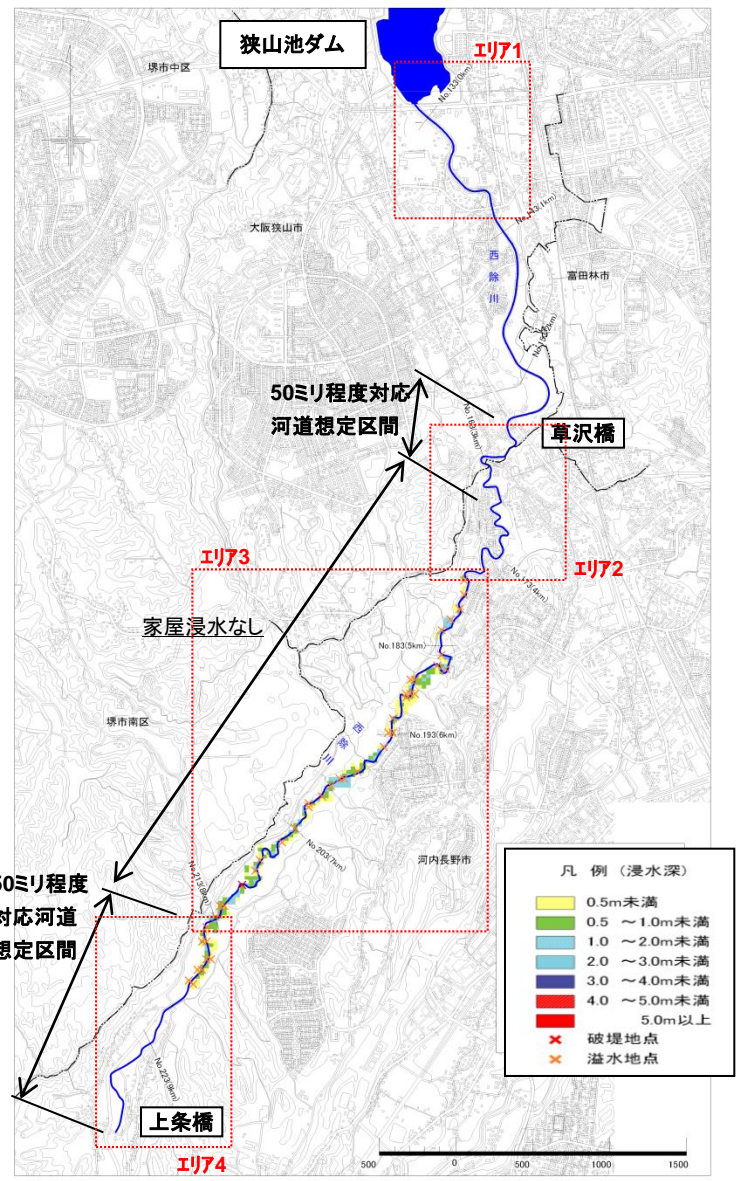
- 河道改修による時間雨量50ミリ程度の対応を想定し、氾濫解析を実施
- 降雨波形は中央集中型とし、時間雨量65ミリ程度、80ミリ程度、90ミリ程度の3ケースを実施
- 氾濫解析モデルは2次元不定流モデルを採用



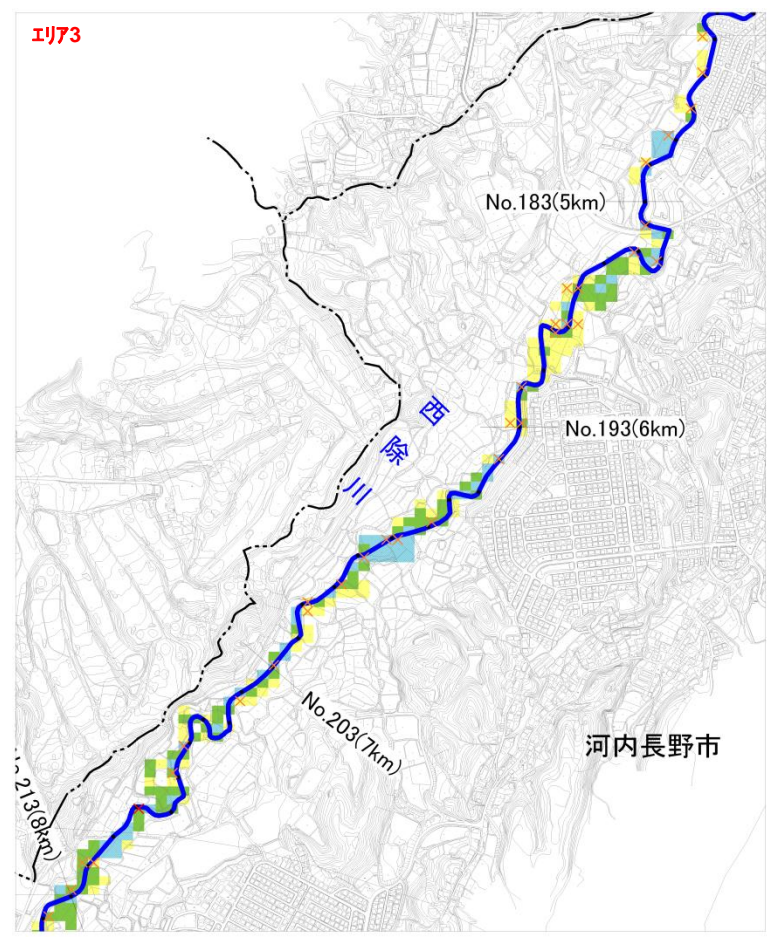


# 2. 当面の治水目標の設定【ダム上流:50ミリ程度対応完成後における氾濫解析】

## ■50ミリ程度対応河道での氾濫解析結果 (狭山池ダム上流区域)



時間雨量65ミリ程度(1/30年)

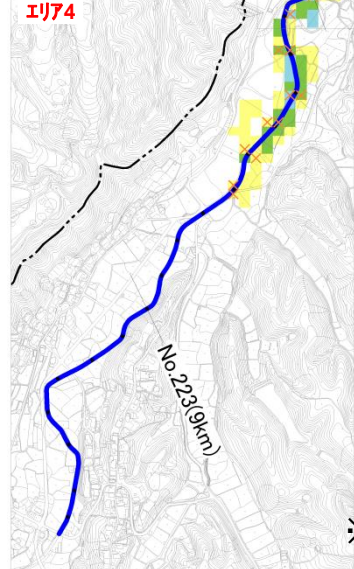
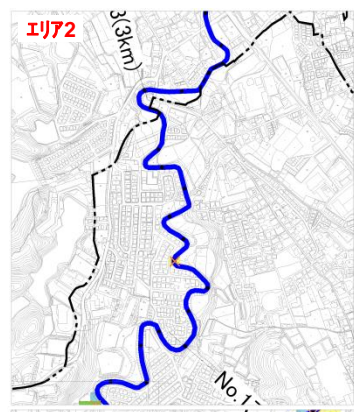
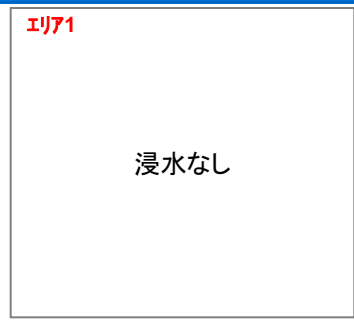
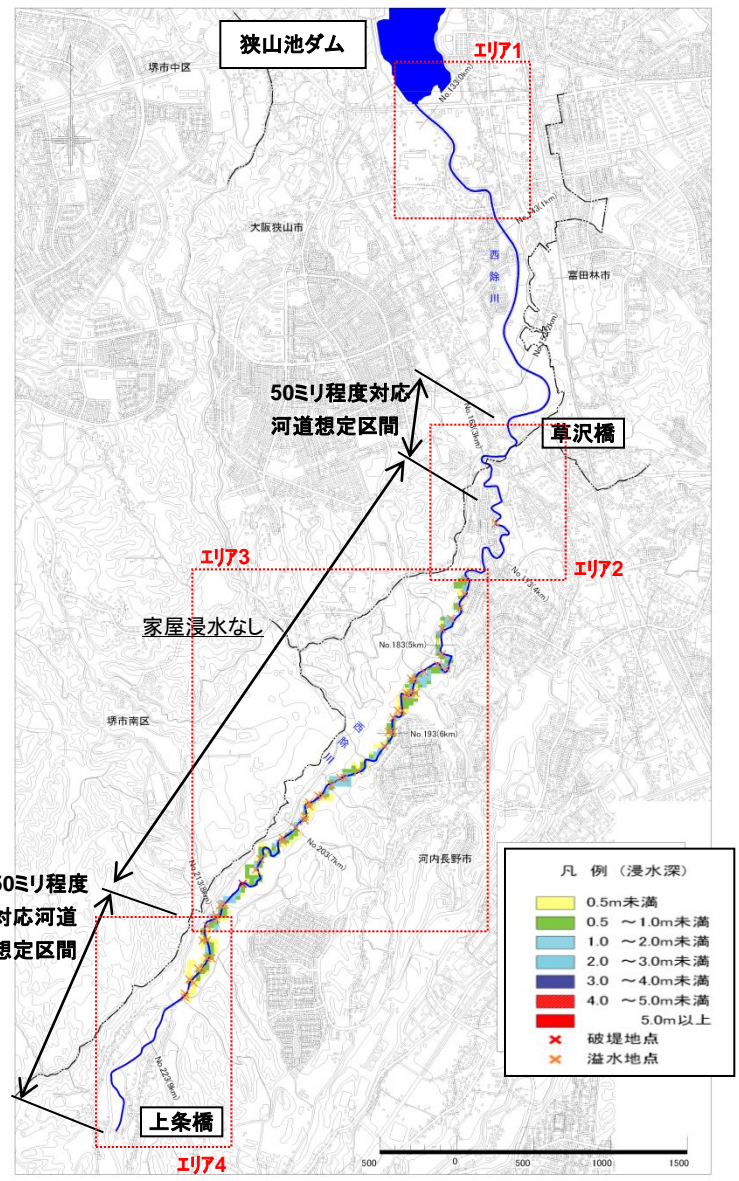


※被害最大となる破堤地点での破堤を想定(1洪水)

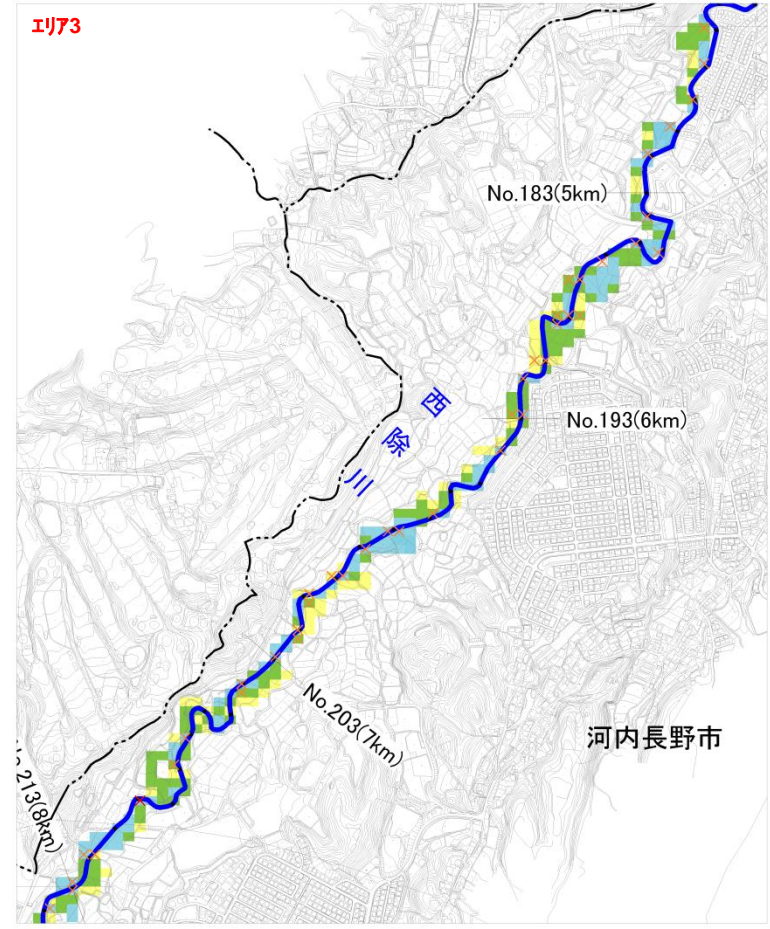


# 2. 当面の治水目標の設定【ダム上流:50ミリ程度対応完成後における氾濫解析】

## ■50ミリ程度対応河道での氾濫解析結果 (狭山池ダム上流区域)



時間雨量80ミリ程度(1/100年)

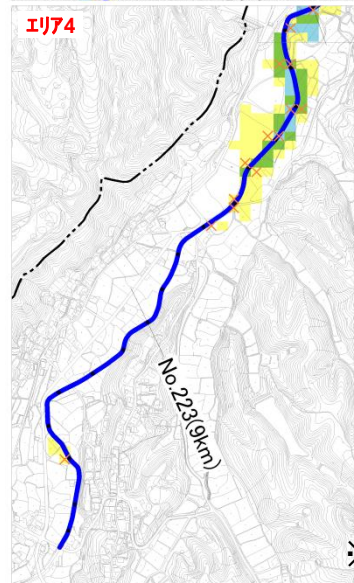
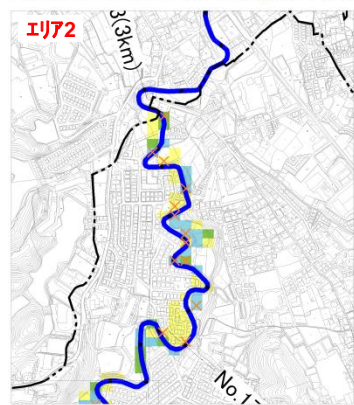
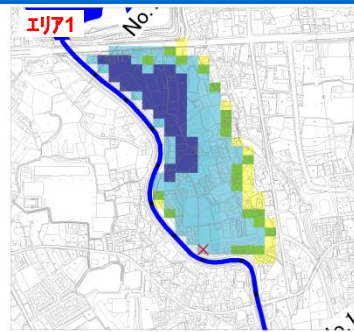
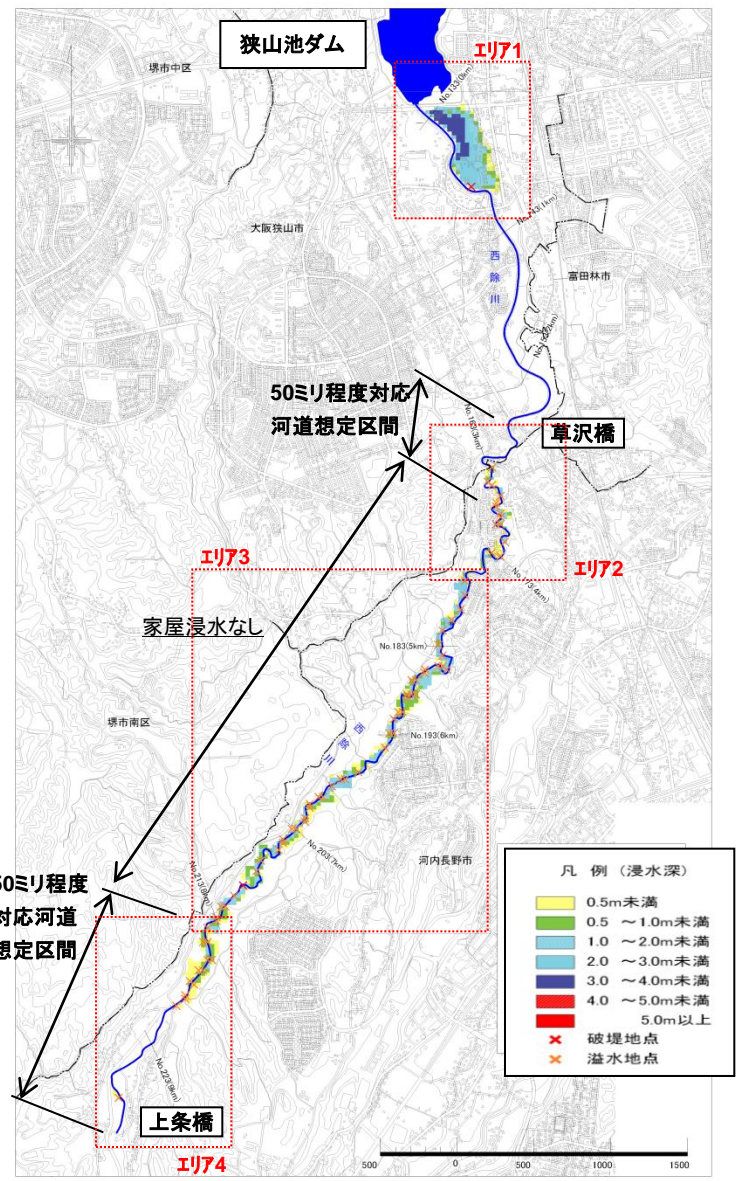


※被害最大となる破堤地点での破堤を想定(1洪水)

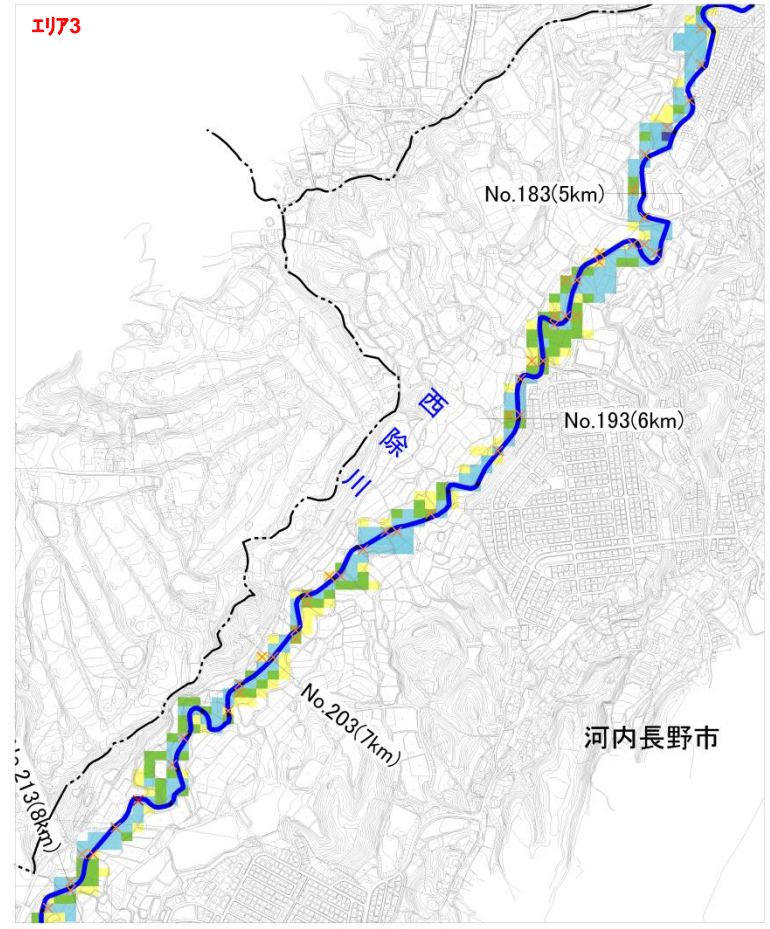


# 2. 当面の治水目標の設定【ダム上流:50ミリ程度対応完成後における氾濫解析】

## ■50ミリ程度対応河道での氾濫解析結果 (狭山池ダム上流区域)



時間雨量90ミリ程度(1/200年)



※被害最大となる破堤地点での破堤を想定(1洪水)



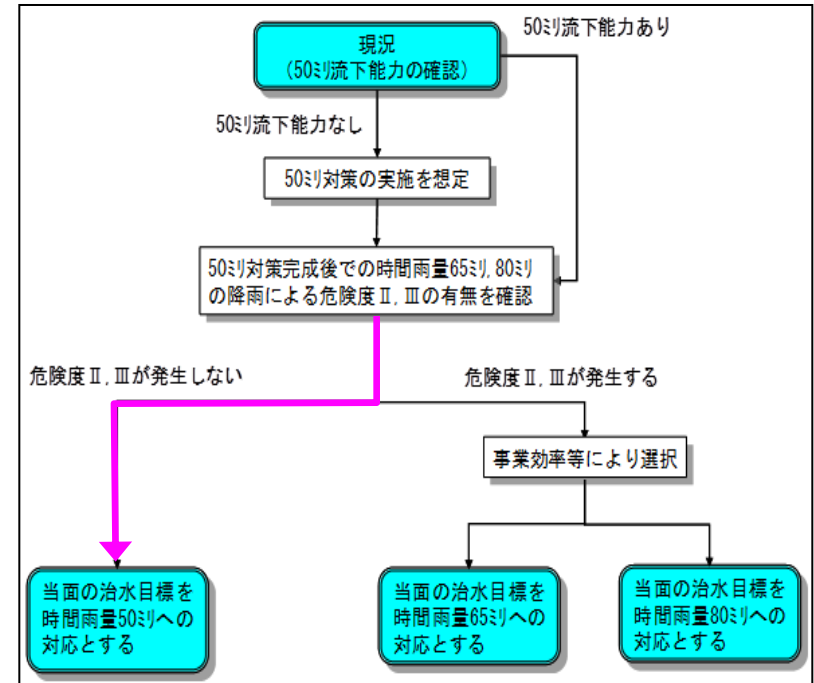
# 2. 当面の治水目標の設定【ダム上流:50ミリ程度対応完成後における氾濫解析】

## ■ 50ミリ程度対応河道(狭山池ダム上流区域)

時間雨量65、80ミリ程度で危険度Ⅱ、Ⅲの家屋への被害が発生しない。

		危険度Ⅰ	危険度Ⅱ	危険度Ⅲ
大 ↑ (発生頻度) ↓ 小	50ミリ程度 (1/10)	7.72 ha 0 人 3 百万円	9.25 ha 0 人 5 百万円	0.13 ha 0 人 0 百万円
	65ミリ程度 (1/30)	7.52 ha 0 人 3 百万円	10.84 ha 0 人 6 百万円	0.13 ha 0 人 0 百万円
	80ミリ程度 (1/100)	6.99 ha 0 人 2 百万円	15.10 ha 0 人 8 百万円	1.20 ha 0 人 1 百万円
	90ミリ程度 (1/200)	11.04 ha 304 人 495 百万円	25.74 ha 524 人 9,376 百万円	6.78 ha 53 人 2,183 百万円
		床下浸水	床上浸水 (0.5m以上)	壊滅的な被害 (浸水深3.0m以上) (家屋流出指数 2.5m <sup>3</sup> /s <sup>2</sup> 以上)
		小 ← (被害の程度) → 大		

凡例
面積 (ha)
人数 (人)
被害額(百万円)



**当面の治水目標を時間雨量50ミリ程度対応とする。**

※前回提示資料から被害額を再精査



## 2. 当面の治水目標の設定【当面の対応方針】

### ■狭山池ダム上流区域の当面の対応

- 当面は狭山池ダム上流区域における下流域の整備を進める。
- 狭山池ダム上流区域における中上流域は、上流域を優先して整備した場合に、中流域への著しいリスク変化が生じないような治水対策及び整備手順を十分に評価・検討する。



## 2. 当面の治水目標の設定【当面の治水目標設定】

### ■ 当面の治水目標設定のまとめ

<p>西除川 (狭山池ダム下流区域) 【了承済み】</p>	<p>⇒ 狭山池ダムが80ミリ程度対応として既に完成していること、及び未改修区間が僅かで用地交渉も概ね進んでいることから、当面の治水目標は、時間雨量80ミリ程度(現計画規模)とする。</p>
<p>西除川 (狭山池ダム上流区域)</p>	<p>●現況 時間雨量50ミリ程度の降雨で危険度Ⅱ、Ⅲの被害が発生する。 (ただし、危険度Ⅲについては家屋への被害は発生しない)</p> <p>●50ミリ程度対策後 時間雨量65ミリ・80ミリ程度の降雨で危険度Ⅱ、Ⅲの被害が発生する。 (ただし、家屋への被害は発生しない)</p> <p>⇒ 当面の治水目標は、時間雨量50ミリ程度対策とする。</p>
<p>三津屋川 【了承済み】</p>	<p>現況 : 時間雨量50ミリ程度・65ミリ程度・80ミリ程度・90ミリ程度の降雨で被害が発生しない。</p> <p>⇒ 当面の治水目標は、現状維持とする。</p>